

しい あずまCていね

手稲中央・手稲鉄北
稲穂金山・星置

生活支援体制整備事業とは・・・

「支え合いの仕組みづくり」の事です。町内会、民生委員・児童委員、地区福祉のまち推進センター、ボランティア、老人クラブ、NPO、地域の企業などの様々な主体が連携し、高齢者の生活を支えています。

居場所づくりから近隣での支え合いへ ～コミュニティカフェめりめろの生活支援サービス～

手稲まちづくりネットワーク代表理事の藤原美由紀さんは、5年前から地域住民の誰もが気軽に集える場として、ていねコミュニティカフェめりめろを運営していますが、お客様から日常生活のちょっとした困りごとの声を聞いたことをきっかけに、生活支援サービスを始めました。

現在は、掃除などの「家事援助」「外出の付き添い」「タンスの組み立て」などを行っています。

サービス提供にあたっては、お客様と会話しながら進めることを大切にしています。コロナ禍でカフェを休業した間も、予防対策を徹底しながらサービスを継続して行ってきました。



▲9月4日手稲区生活支援推進連絡会での藤原さん

実際に生活支援サービスを利用しているF・Sさんにお話を聞いてきました！

- Q. サービスを利用したきっかけは何でしたか？
 A. 「カフェに立ち寄った際に、生活支援サービスがあることを知り、電話で問い合わせたのがきっかけです。」
 Q. どのような生活支援サービスを利用していますか？
 A. 「通院介助や買い物同行です。家庭菜園の手入れなど一人で出来ない事が沢山あるのでとても感謝しています。」



▲当日は通院介助のサービスを利用されていました。

<コミュニティカフェめりめろの生活支援サービス>

- ◎利用料金 30分500円（最長2時間まで）
 ◎カフェ所在地 手稲本町1条3丁目3-1
 メディカルスクエア手稲 2F
 ◎連絡先 080-4941-6321（平日10時から16時まで）

今回は、区内の有償生活支援サービスを紹介させていただきました。今後も、様々な生活支援サービスが広がってほしいなと感じています。





本会では、高齢者の暮らしの支え合いについて考えるため、地域にお住まいの皆さんからいただいた情報をもとに訪問した買い物先や、高齢者施設・集いの場などの社会資源をまとめたマップを作成しています。稲穂金山地区での取組みを紹介します。



①



①9月3日（木）

地区福祉のまち推進センター事務局会議で、作成中のマップを見ながらこれからの取組みについて話し合いました。

手稲山に近く坂道の多い地形や、商店、集会所などの社会資源の情報を共有し、福まちふれあいサロンに参加されている皆さんに見ていただくことになりました。

②



②9月9日（水）

金山会館で行われた福まちふれあいサロンを訪問しました。参加者の皆さんと冗談を言い合いながら、体操、言葉遊び、詩の輪読などを楽しみました。

活動の最後にマップを張り出して皆さんに見ていただきました。

参加者の皆さんからは、
 「近所に移動販売車が来ているよ。」
 「稲穂に住んでいる人に、金山の運動サークルを紹介したら友達が増えたと喜んでいたよ。」
 「地区の事も、こうやって大きな地図で見るとわかりやすいし、面白いね。」といった声が挙がりました。



皆さんと情報交換をしながら高齢者の暮らしの支え合いができるよう、これからも地域を訪ねて社会資源の情報を集めていきたいと思えます。皆さんのご存知の情報がありましたら、ぜひ教えてください。（生活支援コーディネーター 菅原）



社会福祉法人 札幌市手稲区社会福祉協議会
 住所 札幌市手稲区前田1条11丁目 手稲区民センター1階
 電話 (011)681-2644 FAX (011)684-8560
 手稲区社協ホームページ <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/teine>